

LECTURER PROFILE

氏名 大草 孝介 (Kosuke Okusa)准教授
 研究分野 センシングデータ解析
 プロフィール 博士(工学). 横浜市立大学データサイエンス学部准教授
 (2020年より), 中央大学研究開発機構客員准教授(2020年より), 九州大学応用生理人類学研究センター客員研究員(2020年より). 専門はセンシングデータへの機械学習・統計理論の適用とその実社会への応用.



模擬授業タイトル: センシングデータとデータサイエンス

「データサイエンス」は実社会への利活用とともに常に語られますが、大学でのデータサイエンス研究がどのように実社会に展開されているのかイメージしにくいことも多いかと思います。今回の模擬講義では、データサイエンスの実社会での応用例の一例である「センシングデータ解析」について紹介します。



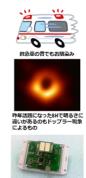
受験生へのMESSAGE

「データサイエンス」は今回の模擬講義で紹介しますセンシングデータだけでなく、医療、製造、小売など様々な現場で活用できる分野です。横浜市立大学データサイエンス学部ではこれらに対応し幅広い分野へ羽ばたけるよう、様々な分野の専門教員を揃えた教育体制を構築しています。興味を持って頂けると嬉しいです。

PREVIEW!

ドップラーセンサ？

- 高校で（歩き）お勉強してたであろうドップラーレンダの電通（マイクロ波）センサです（音でなく光や電波でも可）
- センサの周波数測定から速度測定が可能
- 車の速度測定だけではなく他の動きも捉えそこが出来る所れども
- どこに機械学習とか統計を使うの？
→ドップラセンサは電波の測定範囲内の反射波を捉え、それを分析する
→マイクロ波から得たデータを用いて機械学習や統計モデルリングが不可欠



YOKOHAMA CITY UNIVERSITY - Sensing for Analysis Laboratory

